

第5学年国語科複式学習指導案

日 時 平成21年7月10日(金) 5校時
 対 象 第5学年男子0名 女子3名 計3名
 指 導 者 釜ヶ澤 勝

1 単元名 第5学年 要旨をとらえよう
 「サクラソウとトラマルハナバチ」【説明的文章】

2 単元について

(1) 児童について
 児童は、段落の要点にサイドラインを引いたり、手がかりとなる言葉に着目したりできる。中心となる語を見つけ、内容を的確にとらえて読む力については十分とはいえない。段落相互の関係については、接続語や指示語を手がかりに、つかむことができている。

(2) 教材について
 本教材では、生物との共生関係の積み重ねと破壊を、要点やキーワードに着目し、段落の筋を追いながら理解していく事になる。最後にまとめの段落があるが、その段落が文章の要旨を把握するのに役立っている。この文章構成を生かしながら筆者の考えを探り、要旨をまとめるという学習にふさわしい教材である。

(3) 指導について
 事実が筆者の主張の裏付けてなっているため、児童には叙述に即して読み取らせたい。その際、全体の段落の構成を意識しながら読み取ることで、筆者の言いたいことを正確につかませたい。単元の「深める」活動では、筆者の考えに対する自分なりの考えも持てるようにしたい。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標
 ・文章の構成から要旨をとらえる読み方を知るとともに、植物と動物の共生関係に関する筆者の意見に興味をもち、自分の考えをもとうとする。

(2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読むこと	書くこと	言語についての知識・理解・技能
・文章を読み取って筆者の問いかける内容に関心を持ち、それに対する自分の考えを持つこととする。	・文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえて読んでいる。	・学習した事をポイントを整りして新聞に表している。	・問題提起、問題の解明、まとめという文章構成を理解している。

4 学習計画(11時間扱い)

評 価 規 準	学 習 活 動	時	段 階
・問題提起の文をとらえ、内容をとらえた感想を書いている【読】(記述)	・題名をもとに内容を予想する。 ・教材文を通読し、内容をとらえる。 ・初めて知ったことを中心に感想を交流し、学習の見通しをもつ。	①	出会う
・疑問や感想をもとに学習計画をたて、学習の見通しを持っている。【読】(発言・記述)	・感想や疑問をもとに学習計画を立てる。 ・文章の段落や重要語句に印をつけ、意味を調べる。 ・漢字練習をする	②	見通す
・文章を、内容のまとまりで4つに分け、簡単な小見出しを付けている。【読】(観察・記述)	・内容のまとまりに目を向け、文章構成をつかむ。 ・文章全体を、内容のまとまりで大きく四つに分け、まとまりごとに小見出しをつける。 ・段落①の問題提起を読み取る。	③	追究する
・「受粉の仲立ち」の意味を考えながら1つ目の問題について読み取っている。【読】(記述)	・段落②～③を読んで、1つ目の問題(1)について読み取る(サクラソウの受粉の仕組みとトラマルハナバチ)	④	
・「よい協力者」「強い結びつき」の意味に着目しながら1つ目の問題について読み取っている。【読】(記述)	・段落④～⑥を読んで、1つ目の問題(2)について読み取る(サクラソウとトラマルハナバチの工夫・協力関係)	⑤	本時
・トラマルハナバチの生態に関する叙述から原因となるものを考え、2つ目の問題についてまとめている。【読】(発言・記述)	・段落⑦～⑨を読んで、2つ目の問題について読み取る。(なぜトラマルハナバチがいなくなったか) ・表現の工夫や文末表現の効果について考える。	⑥	
・段落⑩から筆者の考えをまとめ、文章を書いている。【読】(発言)	・段落⑩を読んで、筆者の主張を読み取る。 ・段落⑩を導くためにどんな文章構成となっているか考える。	⑦	まとめる
・自分の力で修正を加えながら要旨をまとめている。【読】(記述)	・教材文全体の要旨をまとめる。 ・筆者の意見に対する自分の考えをもつ。	⑧	
・学習した事をポイントを整理して新聞にまとめて書いている。【書】(記述)	・教材文から読み取った筆者の考えと、自分の考えを整理し学習新聞に表す。 ・学習内容の整理・確認をする。	⑨ ⑩ ⑪	深める

第6学年国語科複式学習指導案

日 時 平成21年7月10日(金) 5校時
 対 象 第6学年男子0名 女子1名 計1名
 指 導 者 釜ヶ澤 勝

1 単元名 第6学年 文章を読んで、自分の考えをもとう
 「生き物はつながりのなかに」【説明的文章】

2 単元について

(1) 児童について
 児童は、段落相互の関係や構成を理解することはできている。文章全体の要旨を、適切な言葉を取捨選択してまとめることは自力ではできていない。内容について自分の考え持ちながら読み進めることができている。

(2) 教材について
 本教材では、筆者の考えを受けて自分なりに意見を持つということが重要になってくる。私たち人間は時間や周囲の様々な物とつながっている生き物であることを読み取り、人間らしい生き方とはどういうものかを考えることができる教材である。

(3) 指導について
 メッセージ色の強い教材であるため、「何が言いたいのか」を意識させながら内容を読み取らせたい。イヌとロボットの比較により、「生き物の特徴」が強調されている点に気づかせたい。自分も生き物であるから、自分を大切にすることと他を大切にすることについて自分なりの解を持ってレポートを作成することとする。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標
 ・文章の構成や表現から要旨をとらえ、筆者の考えに対する自分なりの考えをもつことができる。

(2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読むこと	書くこと	言語についての知識・理解・技能
・文章を読み取って筆者の問いかける内容に関心を持ち、それに対する自分の考えを持つこととする。	・筆者がこの文章を通して考えてもらいたいと思っていることを読み取ることができる。	・筆者の考えをまとめ、自分の考えを持ち、文章に表すことができる。	・文章全体の大まかな構成と、各段落の役割を理解し、文章構成図に表せる。

4 学習計画(9時間扱い)

段 階	時	学 習 活 動	評 価 規 準
出会う	①	・題名から、「つながり」とは何のつながりなのか想像するなどして、興味や関心を持つ。 ・初めて知った事や疑問に思った事を述べる。	・興味をもって文章を読み、自分の感じたことや考えを書いている。【書】(記述)
見通す	②	・筆者が何について問題提起をし、何を説明しているのかを捉える。 ・おおまかな文章構成を捉え、学習計画を立てる。 ・言葉調べ、漢字練習をする。	・問題提起の文を捉え、大まかな文章全体の構成をつかんでいる。【読】(観察・記述)
追究する	③ 本時	・構成をもとに、問題の解明1(段落②③④)でのロボットと本物のイヌの比較の要素をまとめる。	・叙述から、比較の要素を抽出し、生き物の特徴1をまとめている。【読】(記述)
	④	・段落⑤⑥および、段落⑦の要点を考える。	・叙述から、強調している内容を探し、中心文を使って要点をまとめている。【読】(記述)
	⑤	・段落⑧の要点をまとめ、意味を考える。 ・「あなた」の言葉から、筆者の意図を考える。	・筆者の伝えたいことを考え、段落⑧の要点をまとめている。【読】(記述)
まとめる	⑥	・段落の要点、キーワード、筆写の主張から文章全体を要約する。(200字程度)	・生き物の特徴と筆者の考えを落とさずに、文章を要約している。【読】(記述)
	⑦	・筆者の意見に対する自分の考えを書く。 ・筆者の意見に対する自分の考えを持ち、深める。	・筆者の意見をふまえ、自分の考えをまとめて文章を書いている。【読】(記述)
深める	⑧	・要旨をもとに自分なりの感想を併記した、学習レポートを作成する。	・筆者の主張をもとに、文章の構成を考え学習レポートを書いている。【書】(記述)
	⑨	・学習内容の整理・確認をする。	※レポートのモデルを例示し、相手に伝えるために必要な構成の方法をつかませる。

5 本時の学習指導（5年）

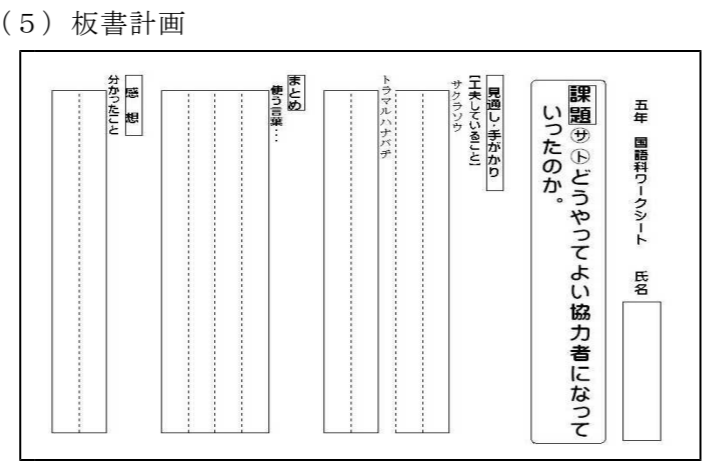
- (1) 目標
 ・サクラソウとトラマルハナバチの二者の関係に着目し、叙述に即して読み取ることができる。【読む】
 (2) 展開
 ガ・・・学習ガイド 直接指導

	※評価 ○支援	指導上の留意点	学習活動	形態
導入 5分		<ul style="list-style-type: none"> そのままでは受粉できないことから課題設定する。 音読箇所を段落④～⑥とする。 	1. 学習課題を把握する。 ㊦㊦ どうやってよい協力者になっていたのか。	
展開 30分	※項目を探せたか。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート サクラソウとトラマルハナバチそれぞれ2点 	2. 学習の見通しをもつ。 ・学習場面の音読をする。 ・何に目をつけるか考える → サクラソウの理由とトラマルハナバチの理由	2. 学習の見通しをもつ。 ・何に目をつけるか考える。 → 生き物とロボットのちがいを ・学習場面の音読をする。 3. 一人学びをする(ワークシート) ・生き物とロボットのちがいを探る。 ・段落②～④を読み進め、必要な言葉を探し、サイドラインを引き、記述する。 4. 本物とロボットとの違いを確認する。 ・段落② 内と外とで物質のやり取り→本物 ・段落③ 外から電池を入れる→ロボット ・段落④ 外から取り入れたものが自分の一部になるようなつながり方が生き物の特徴 5. 段落④の内容を読み取る。 ・「つまり」の働きを考える。 ・前半の具体例について読み取る。 ・後半の筆者の考えを読み取る。 ・読み取ったことを記述する。 ガ 手引き
	※読み取りとったことをもとに説明できたか。	<ul style="list-style-type: none"> それぞれが、紙板書の前に出て、自分の線を引いたところをマーカーで引くこととする。 穴埋め形式で会話するようにする。 記述の確認 ㊦開花の時期・花の形 ㊦くらし方・体のつくり 	3. 一人学びをする(ワークシート) ・サクラソウの2つの工夫を探す ・トラマルハナバチについて2つの工夫を探す。	
		<ul style="list-style-type: none"> 紙板書を用いて段落④⑤を整理する。 	4. 一人学びの確認をする。 ガ 手引き・リーダー ・線を引いたところを確認し合う。 ・修正があれば修正する 5. 絵と吹き出しをもとに説明し合う。 ・私はサクラソウです。私はあなたから()してもらいます。そのため、工夫をしています。それは()です。 ・私はトラマルハナバチです。私もあなたに合わせています。それは、()です。	
終末 10分	※全体の構成をおさえたまとめとなっているか。 (記述)	<ul style="list-style-type: none"> 条件をつけてまとめさせる。(条件・・・使う言葉) 上下学年で感想の交流をする。 	7. 学習のまとめを記述する。 まとめ (お互いにより協力者になるように)長い長い時間をかけて、体の形、生活周期を調節してきた。 8. 分かったこと、感想を交流し合う 9. 次時の学習内容を確認する。	

(3) 評価

評価規準	具体の評価規準	
	A	B
両者の協力関係について叙述に従って読み取ることができる。	両者の協力関係を読み取り、段落の構成をふまえて、記述できる。	両者の協力関係がわかり、必要な語を用いて記述できる。

- (4) 努力を要する児童への具体的な手だて
- ①「工夫」という語に着目させる。
 - ②机間指導での対応



5 本時の学習指導（6年）

- (1) 目標
 ・叙述から、ロボットの仮と本物の仮の比較の要素を抽出し、生き物の特徴1をまとめることができる。【読む】
 (2) 展開
 ガ・・・学習ガイド 直接指導

	※評価 ○支援	指導上の留意点	学習活動	形態
導入 5分			1. 学習課題を把握する。 生き物の特徴の1つ目をさぐる。	
展開 30分		<ul style="list-style-type: none"> 線は短めに引くように助言する。 	2. 学習の見通しをもつ。 ・何に目をつけるか考える。 → 生き物とロボットのちがいを ・学習場面の音読をする。 3. 一人学びをする(ワークシート) ・生き物とロボットのちがいを探る。 ・段落②～④を読み進め、必要な言葉を探し、サイドラインを引き、記述する。 4. 本物とロボットとの違いを確認する。 ・段落② 内と外とで物質のやり取り→本物 ・段落③ 外から電池を入れる→ロボット ・段落④ 外から取り入れたものが自分の一部になるようなつながり方が生き物の特徴 5. 段落④の内容を読み取る。 ・「つまり」の働きを考える。 ・前半の具体例について読み取る。 ・後半の筆者の考えを読み取る。 ・読み取ったことを記述する。 ガ 手引き	2. 学習の見通しをもつ。 ・何に目をつけるか考える。 → 生き物とロボットのちがいを ・学習場面の音読をする。 3. 一人学びをする(ワークシート) ・生き物とロボットのちがいを探る。 ・段落②～④を読み進め、必要な言葉を探し、サイドラインを引き、記述する。 4. 本物とロボットとの違いを確認する。 ・段落② 内と外とで物質のやり取り→本物 ・段落③ 外から電池を入れる→ロボット ・段落④ 外から取り入れたものが自分の一部になるようなつながり方が生き物の特徴 5. 段落④の内容を読み取る。 ・「つまり」の働きを考える。 ・前半の具体例について読み取る。 ・後半の筆者の考えを読み取る。 ・読み取ったことを記述する。 ガ 手引き
		<ul style="list-style-type: none"> 紙板書を貼りながら、段落の内容を整理する。 「つまり」以下にある筆者の考えをおさえる。 	6. 特徴の1つ目について考える。 ・筆者の言いたい事を考える。 ・ロボットの特徴と生き物の特徴です。 ・生き物の特徴です。 ・外から取り入れるのが生き物の特徴だという事です。	
		<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに、終わった後の指示を盛り込む。 	7. 学習のまとめをする まとめ(例) 内と外とでやり取りをして、体の一部になるのが生き物の特徴である。	
終末 10分	<ul style="list-style-type: none"> 板書を参考に大事な言葉(キーワード)を自分なりに使ってまとめる。 感想を交流し、下学年に助言できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、①叙述、②要点、③文章構成図を使って考えと理由を述べる。 	8. 分かったことや感想を交流し合う。 9. 次時の学習の確認をする。	

(3) 評価

評価規準	具体の評価規準	
	A	B
生き物の特徴の1つ目を読み取っている。	対比の効果もふまえて生き物の特徴を読みとっている。	生き物の特徴をキーワードを使ってまとめている。

- (4) 努力を要する児童への具体的な手だて
- ①比較の要素を見つける際の学習方法を提示する。
 - ②線を引いた言葉のつながり方については、机間指導で対応する。
 - ③長い文章にするのに抵抗がある場合は、短い文をまず作り、そこに修飾語を補うなどの手段を助言する。

